

2007.7.8 晴れ 野木鳥の会 由良川を下ってスケン谷に



由良川

925 三国P 1006 三国峠 1038 枕谷分岐 1110 長治谷昼食 1148 発 1220 本流入り 1325 スケン谷 1351 発 1410 スケン手前谷 1530 本流出 1545 長治谷 1615 地藏谷 1635 三国P



右岸に行く

例によって、三国峠から枕谷のコース経由で本流を目指す。三国峠山頂では幾分ガスがあるものの百里ヶ岳をみることができた。枕谷の緑は以前に比し、緑が濃くなり、写真を撮る気にはさせてくれなかった。ブナの巨木は相変わらずでかい。



右岸に行く

長治谷で早い昼食とした。本日はOさんの作った弁当であった。おいしくいただいた。その後はSさんのコーヒー。美山よりバスが来て、20人くらい降りて食事をしていた。彼らはどこにいくのだろう。ほとんど普段着だが。

下谷をわたり本流の右岸側に取り付いた。道はあったが、溪流シューズゆえ、ジャブジャブもやりつつ下っていった。



右岸に行く

メンバーの中には長靴も数人いたので、どちらかといえば右岸沿いの道歩きが多くなった。が、右岸沿いの道は相当高巻きもあったので、正確には、川沿いの左右の道を進んだという表現になる。このため、結構時間を要した。



右岸に行く

Tさんは登山靴であったが、左岸をひとり楽しみながら下っていった。ようやく、見覚えのあるスケン谷に着いた。が、結構草の背丈が高くなり、広々とした雰囲気イメージが幾分異なっていた。



スケン谷手前の谷

が、奥の方は草もなく、栃の木の間場となっていた。不思議なもので前回きたときの感激の再現はなかった。段々、感覚も鈍感になるのかな。帰りは高巻きの右岸の道を活用し順調に下った。が、Mさんの危うい足取りのため途中で川沿いの道に切り替えた。

長靴のメンバーは帰りは水がはいることは気にせずジャブジャブしていた。



スケン谷の栃の木広場